

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) B		選択	2	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
宮村 りさ子	B312	risako.miyamura	木曜日 11:00~12:30			
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;精神障害および精神保健福祉の課題を持つ人とその家族への支援について具体的援助方法を学ぶ。精神医療、精神障害者福祉における多職種連携や多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割を知り、実際の支援過程について理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;本科目は、精神保健福祉の実践モデルとアプローチなど精神保健福祉士として実践に携わる上で求められる知識や技術について教科書や資料をもとに遠隔にて授業を行う。</p>					
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )			
学習上の助言	本科目では精神保健福祉士として不可欠な実践的な知識や技法を修得する。専門用語が分からないままにならないように予習と復習をしてください。					
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法[精神専門] / 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 中央法規出版株式会社					
参考書	教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は授業時に適宜紹介する。					
外部教材	なし。					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神保健福祉分野の組織運営管理、組織活動の展開に関する概念と方法を理解できる。			HSU(1)(3)、HC(1)(3)(5)		
②	ソーシャルアクションへの実践展開についてマイクロ・メゾ・マクロを理解する。			HSU(1)(3)、HC(1)(2)(3)(5)		
③	精神保健福祉分野における多職種連携や多機関との連携について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、HC(1)(2)(3)(5)		
④	精神保健福祉分野のソーシャルアドミニストレーションの概念と意義を理解できる。			HSU(1)(3)、HC(1)(2)(3)(5)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する。	同時双方向型授業	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。	4		
2	ソーシャルアクションへの展開①「ソーシャルアクションの基本的視点」「個別支援から地域における体制整備」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
3	ソーシャルアクションへの展開②「政策提言/政策展開」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
4	ソーシャルアクションへの展開③「精神障害者の地域移行/地域定着に関わる展開」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
5	多職種連携/多機関連携 (チームアプローチ) ①「連携の意義と目的」「多職種連携/多機関連携の留意点」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
6	多職種連携/多機関連携 (チームアプローチ) ②「チームビルディング」「チームの形態と特徴」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
7	多職種連携/多機関連携 (チームアプローチ) ③「連携における精神保健福祉士の役割」「多職種連携/多機関連携の実際」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
8	多職種連携/多機関連携 (チームアプローチ) ④「連携における精神保健福祉士の役割、多職種や多機関との連携の実際について、事例をもとに考える。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
9	ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義①「精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
10	ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義②「精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの展開方法、人材確保と人材育成」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
11	関連分野の精神保健福祉士の実践展開①「学校教育分野」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
12	関連分野の精神保健福祉士の実践展開②「産業分野」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
13	関連分野の精神保健福祉士の実践展開③「司法分野」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
14	関連分野の精神保健福祉士の実践展開④「災害分野」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
15	講義全体の振り返りをする。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4		
試	定期試験の実施 / 達成度評価・評価のポイントを参照する。					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		60	0	30	0	10	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	5	0	0	55	
	思考・推論・創造する力	10	0	5	0	0	15	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5	
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15	
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	期末試験では行動目標①～④について正誤を判断する問題形式で出題する。出題方法は選択肢ならびに記述式の問題で構成され、行動目標①～④に関する達成度についても総合的に評価できるように出題する。					正答や模範解答を公表する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①		第 8 回の授業時では「多職種連携/多機関連携 (チームアプローチ) ④」についてグループワークを実施し、グループで考えや意見をまとめて発表する。					次回の授業時に口頭でフィードバックする。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業終了時にリアクションペーパーに感想や意見などを書いてもらう。その内容によって取り組む姿勢や意欲と判断する。					次回の授業の初回に、フィードバックする。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験								
実践的授業の内容	講義科目であるが、専門的な知識や技術に対する理解を深めるために、アクティブラーニングによる実践的な授業も取り入れる。							
そ の 他	1) Teams によるリアルタイム双方向型の授業の場合、通信容量が無制限の Wi-fi 環境での受講を推奨。 2) 精神保健福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 3) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。							